

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和6年度

1 基本情報

公の施設名	横山公園、道保川公園
指定管理者名	横山公園グループパートナーズ（横浜緑地株式会社、株式会社協栄）
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。（都市公園法第1条） 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図るとともに、運動施設を有する都市公園として、スポーツの振興及び市民の健康増進を図る。
施設概要	【横山公園】（運動公園、昭和45年供用開始、13.5ha） 芝生広場、樹林広場、クラブハウス、駐車場、運動施設（人工芝グラウンド、野球場、テニスコート） 【道保川公園】（風致公園、昭和59年供用開始、7.71ha） 管理事務所、駐車場、野鳥観察ゾーン、山野草観察ゾーン、森林生態観察ゾーン、水生動植物観察ゾーン、遊具広場
施設所管課	公園課、スポーツ施設課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
横山公園	【人工芝グラウンド】 利用件数合計（件）	1,390	1,402	1,304			
	【野球場】 利用件数合計（件）	686	780	684			
	【テニスコート】 利用件数合計（件）	9,812	8,903	8,281			
利用料金合計（円）	35,367,045	34,882,540	34,541,085				

3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>当該年度の指標1から指標10の平均値の達成度が「219%」となることから「S評価」とした。</p> <p>地域活性化に資するイベント、及び緑化イベントの実績値はいずれも目標値を上回っており、特に指標3で今後も活動に参加したいと回答いただいた方々とのつながりを大切に、より多くの方に愛着を持っていただける公園になることを期待する。</p> <p>スポーツ施設の利用件数の実績値はいずれも目標値は達成できなかったが、天候や気温による要因があることや、指定管理者初年度ということもあり、利用者増加につながる取組を今後期待する。</p> <p>達成度が高すぎる指標については、目標値を再考していただきたい。</p>

指標1

指標名 (単位)	地域活性化に資するイベントの参加人数 (人)
指標式と指標の説明	達成度 (%) = 実績人数 ÷ 目標人数 × 100

項目 (単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値 (人)	-	-	1,500	2,500	2,800	3,300	3,600
実績値 (人)	-	-	14,183	/	/	/	/
達成度 (%)	-	-	945.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標2

指標名 (単位)	地域活性化に資するイベントの協働人数 (人)
指標式と指標の説明	達成度 (%) = 実績人数 ÷ 目標人数 × 100

項目 (単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値 (人)	-	-	50	80	120	150	170
実績値 (人)	-	-	178	/	/	/	/
達成度 (%)	-	-	356.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標3

指標名 (単位)	地域活性化に資するイベントにおいて「今後、公園や地域で行うボランティア活動や、まちおこし等の活動に参加したいと思った」と回答した割合 (%)
指標式と指標の説明	達成度 (%) = 実績割合 ÷ 目標割合 × 100

項目 (単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値 (%)	-	-	50	55	60	65	70
実績値 (%)	-	-	73	/	/	/	/
達成度 (%)	-	-	146.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標4	
指標名(単位)	地域活性化に資するイベントにおいて「また、この公園に来よう」と思った人の割合(%)
指標式と指標の説明	達成度(%) = 実績割合 ÷ 目標割合 × 100

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(%)	-	-	80	80	80	80	80
実績値(%)	-	-	93	/	/	/	/
達成度(%)	-	-	116.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標5	
指標名(単位)	緑化イベントの参加人数(人)
指標式と指標の説明	達成度(%) = 実績人数 ÷ 目標人数 × 100

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(人)	-	-	150	200	260	320	350
実績値(人)	-	-	171	/	/	/	/
達成度(%)	-	-	114.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標6	
指標名(単位)	緑化イベントにおいて「今後、自分でできる緑化活動をしようと思った」と回答した人の割合(%)
指標式と指標の説明	達成度(%) = 実績割合 ÷ 目標割合 × 100

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(%)	-	-	60	65	70	75	80
実績値(%)	-	-	79	/	/	/	/
達成度(%)	-	-	131.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標7	
指標名(単位)	緑化イベントにおいて「また、この公園に来よう」と思った人の割合(%)
指標式と指標の説明	達成度(%) = 実績割合 ÷ 目標割合 × 100

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(%)	-	-	80	80	80	80	80
実績値(%)	-	-	84	/	/	/	/
達成度(%)	-	-	105.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標8	
指標名(単位)	人工芝グラウンド利用件数(件)
指標式と指標の説明	達成度(%) = 実績件数 ÷ 目標件数 × 100

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(件)	-	-	1,400	1,420	1,440	1,460	1,500
実績値(件)	1,390	1,402	1,304	/	/	/	/
達成度(%)	-	-	93.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標9	
指標名(単位)	野球場利用件数(件)
指標式と指標の説明	達成度(%) = 実績件数 ÷ 目標件数 × 100

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(件)	-	-	690	700	710	720	730
実績値(件)	686	780	684	/	/	/	/
達成度(%)	-	-	99.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標10	
指標名(単位)	テニスコート利用件数(件)
指標式と指標の説明	達成度(%) = 実績件数 ÷ 目標件数 × 100

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(件)	-	-	9,850	10,350	11,100	11,600	12,400
実績値(件)	9,812	8,903	8,281	/	/	/	/
達成度(%)	-	-	84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>基準点に対する実績点の割合が「123%」となることから「A評価」とした。</p> <p>運動公園である横山公園では、スポーツ教室の事業を実施し好評を得ているが、公園に人を呼び込み公園で楽しんでもらえる事業を多数実施している点を評価する。</p> <p>風致公園である道保川公園では、環境学習の場として活用される事業を実施している点を評価する。</p> <p>テニス教室は、参加者数が少ないものの、ニーズを調査しながら試行錯誤して取り組んでいる点を評価する。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(対象なし)			

企画提案事業 横山公園

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
【横山公園】 環境学習プログラム「はち育」	通年	ミツバチの飼育を開始。地元小学校の校外学習会の際にミツバチの生態と地域の環境やその魅力を紹介。小学校への出張講座（巣箱観察等）も実施 秋のお祭り時には、道保川公園に移動しながらミツバチの生態を学ぶ「虫の気持ちウォークラリー」を実施。初収穫のハチミツ「よこやまハニー」の試食も体験。参加人数：41人	◎
【横山公園】 MOTTOフラワープロジェクト	11月8日	地元保育園児にチューリップ球根の植付け、ネモフィラの種まきを行ってもらった。今まで正式な花壇としていなかった箇所を新たに設定し、春の花を咲かせることができた。園児と家族や来園者が記念写真を撮っていた。地域と連携した取組が行えた。参加人数：24人	○
【横山公園】 よこやまオータムフェスタ	11月23日、24日	シンボルツリーメタセコイヤ並木の黄葉に合わせ秋の公園を楽しむ地域活性化イベントを初開催。地域で活動されてきた2つのマルシェに地域づくりとして公園が積極的に連携アプローチして開催を主導 アクセサリー・ドライフラワーアレンジ等のハンドメイド作品販売・ワークショップ、地元で人気の焼きいも専門店をはじめグルメキッチンカー約40店舗によるマルシェ 道保川公園と連携したウォークラリー、地元上溝の名所特徴を楽しく学べる「上溝かるたバトル・展示」子供も大人も楽しめる参加型イベントも提供 参加人数：2日間延べ約8,200人。満足度：約80%が満足	◎
【横山公園】 よこやまスポーツフェスティバル	1月19日	スポーツ公園である公園の特徴を生かし、スポーツ活動の拠点を相模原市に置いてトップレベルの活躍をしているホームタウンチーム全4チーム※と連携し開催 ホームタウンチームの特別な体験クリニックを実施することで、各種目やチームの認知度を高め、魅力を広めた。 また、誰でも参加できるスポーツ体験の場も設けることで様々なスポーツを体験する機会や体を動かすにきっかけを広げ、スポーツを楽しむ人を増やすことができた。 スポーツ会場の脇にはキッチンカーやボディメンテナンスの出店エリアも設けてお祭り感を演出した（8店舗）。参加人数：約700人 ※SC相模原（サッカー）、三菱重工相模原ダイアボアーズ（ラグビー）ノジマステラ神奈川相模原（女子サッカー）、ノジマ相模原ライズ（アメフト）	◎

【横山公園】 樹林広場 de ツリーイング	11月24日	歴史の長い公園の大きな樹を活用して、ロープワーク技術を生かしたクライミング体験を実施。樹に触れ樹や自然について理解を深め、樹上からの特別な景色を楽しみ、日常では体験できない一つ上の冒険心を育んだ。参加人数：23人	◎
【道保川公園】 ホタル復活プロジェクト	8月3日 10月27日 3月2日	ホタルの名所と言われる道保川公園だが、ゲンジボタルの生息数が減っていることを受け、現状を把握して、少しずつ復活するようヒトにも生きものにも居心地よい環境にする、麻布大学及び専門NPO生態教育センターとの協働プロジェクト。 カワナナの生態数調査、トキワツユクサやドクダミの人力除草による川の陸地化防止、ゲンジボタル幼虫の生息数調査の計3回実施。参加人数：64人。満足度87%。	◎
【道保川公園】 上段広場 de ツリーイング	12月7日	歴史の長い公園の大きな樹を活用して、ロープワーク技術を生かしたクライミング体験を実施。樹に触れ樹や自然について理解を深め、樹上からの特別な景色を楽しみ、日常では体験できない一つ上の冒険心を育んだ。参加人数：19人。	◎
【道保川公園】 ディスカバリバー	6月30日 1月26日 3月9日 8月20日～展示	貴重な水辺と林が広がる道保川公園で、自然のふしぎや発見を楽しむ環境学習プログラム。麻布大学及び専門NPO生態教育センターとの協働プロジェクト。 8月20日からは「触れる標本」として、虫の抜け殻や鳥の羽など、園内のリソースを活用したユニバーサル仕様の展示コーナーも設置。 ミツバチ探しとミツろうそくづくり、バードコールを作って小鳥を探そう、樹木観察とはっばのステンドグラスづくりの計3回実施。参加人数：82人（展示除く）。満足度は96%以上と非常に高かった。	◎
【道保川公園】 ホタル観察会	6月8日 ～6月16日	ゲンジボタルの飛翔時期に合わせて、9日間、開園時間を延長。生態を紹介するパネル展示や観賞灯体用の赤フィルム配付等で、ゲンジボタルの保全意識も醸成。麻布大学から運営補助として延べ24人参加。参加人数：5,236人。95%の人がまた公園に来たいと回答。	○

自主事業 横山公園

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
【横山公園】 自動販売機飲料水等販売	通年	近隣に飲食店舗がないことから散歩や運動後の日常的な水分補給や熱中症対策等を目的として飲料水の自動販売機を設置。災害支援型の販売機も備え広域避難場所での水分補給を担うライフラインとしても備えた。また、ベビー用紙おむつ自動販売機も備え安心して公園を利用いただける環境を整えることができた。	○
【横山公園】 スポーツ教室 ラグビー教室	通年	三菱重工相模原ダイナボアーズアカデミーと共同で体験会、約週1回の通年教室を開催。基本スキル（ハンドリング、コンタクト）を中心に判断力の向上を促した練習を実施。ライセンス保持者による本格的な指導で将来を担う若いプレーヤーを育成した。参加人数：約30～35人/回	○

【横山公園】 キッチンカー	8月、9月、 1月、2月、3月	こだわりのクレープやアイスを中心に販売。レモネードなどのドリンクも提供。近隣に飲食店舗がないため利用者に喜ばれた。	○
【横山公園】 エコクラフト教室	8月、10月、 11月、3月	間伐材や木の実など自然素材や、木の実など自然素材を生かしたクラフト体験を社会福祉団体とも連携し実施。スワッグ・ブッシュドフラワー・寄せ植え・カレンダー等作れる作品を季節や参加者に合わせ毎回変更。子供たちはもちろん大人にも楽しんでいただけ微笑ましい時間を創り出すことができた。 参加人数：38人	○
【横山公園】 スポーツ教室 硬式テニス教室体験会 軟式テニス教室体験会	9月24日、27日	初心者向けの体験会を実施。両種目とも年齢別に3クラスを設定。どなたでも参加しやすい体験会とした。参加人数：8人	○
【横山公園】 スポーツ教室 青空FieldYoGa（ヨガ教室）	10月29日	野球場の利用されにくいタイミングを活用してヨガ教室を計画。当日は雨天のためチェアヨガ、コアフェイストレーニングを実施。参加人数：4人	○
【横山公園】 スポーツ教室 冬休み短期軟式テニス教室	12月26日～ 12月28日	小学生と中学生の2クラスを設定。小学生クラスは、しっかり止まって打ちラリー継続を目指した。中学生クラスはロブやボレーなど様々な球種を使った戦術を学び、ゲームを有利に進めて試合で勝てるテニスを目指した。参加人数：41人	○
【横山公園】 スポーツ教室 ソフトテニススクール	1月～3月 (21回)	基本的な技術とマナー・礼儀などスポーツマンシップと勝つためのテクニックを習得するための教室を開催。参加人数：5～10人/回	○
【横山公園】 はちみつ&蜜蝋製品開発	11月	はち育活動で飼育したミツバチが巣箱に貯めた蜂蜜を採取。ミツロウで「蜜蓋」がされた状態の巣枠からナイフで蜜蓋を切り取り、遠心分離機で蜂蜜を振り出して採取し、目の細かい網でろ過。瓶詰は社会福祉団体に発注作成	◎
【横山公園】 スポーツ教室用品販売・レンタル	3月	テニスボールの販売を開始	○
【道保川公園】 虫の気持ちウォークラリー	11月23日、24日	横山公園計画事業「環境学習はち育®」とのコラボ企画として2公園をつなぐ取組を実施。みつばちの飛翔距離と2公園間の距離がほぼ同程度であることを利用し、みつばちの生態と生息環境に目を向けること、はちみつ等自然の恵みの貴重さを伝えるコンテンツとした。参加人数：41人	◎
【道保川公園】 ハンモックカフェDAY	12月7日	道保川公園初のキッチンカー等にぎわいとハンモックでのリラクゼーションを提供 市内全3区からエシカルな取組の店舗が集結したほか、市内絵本店による絵本読み聞かせや上溝地域包括支援センターによる上溝かるたなど、地域連携・市内の魅力発信も実現 目標値の7倍近い集客を実現しただけでなく、高齢層の散歩利用が多い公園に、過去に類のない若年層～親子連れが集まる機会を創出した。参加人数：約200人	◎

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
C	利用者満足度の目標値に対する達成度が「89%」となることから「C評価」とした。 指定管理者として初年度ということもあるため、満足度調査の結果を踏まえ、今後の管理運営に活かしていただき高い満足を得られるよう努めていただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施（10月～3月実施、376件）
目標値の基準	「施設を利用しての感想」に対する回答について、「大変よかった」及び「よかった」の合計比率がグループ全体で平均90%以上

項目 (単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値 (%)			90	90	90	90	90
実績値 (%)			80.1				
達成度 (%)			89.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ホームページの活用	通年	ホームページにおいて「お問い合わせフォーム」を設けいつでもご質問等をお受けすることを可能としている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
B	本体事業収支、及び全体収支は赤字、団体の財務状況は特段問題がないことから「B評価」とした。 指定管理者初年度であるため発生した経費があり赤字となっているが、次年度以降は黒字になるよう努めていただきたい。

施設の収支概要		(千円)		
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
収入 (a)	106,462	106,624	125,408	
指定管理料	68,997	68,753	88,000	
利用料金収入	15,233	15,148	17,464	
その他の収入	22,232	22,723	19,944	
支出 (b)	111,723	111,409	128,883	
人件費	52,927	54,656	55,382	
本社管理経費	7,372	6,858	16,190	
その他の支出	51,424	49,895	57,311	
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)	-5,261	-4,785	-3,475	
自主事業収入 (d)	4,136	4,771	6,113	
自主事業支出 (e)	1,881	1,614	3,305	
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)	2,255	3,157	2,808	
全体収支 [(c)+(f)]	-3,006	-1,628	-667	
備考				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和7年3月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン対応としている。 ・各公園のロゴとパークカラーを独自設定。各公園の特徴となる4つのモチーフ、カラーから設定。ホームページ、掲示物、公園パンフレット、チラシなどに使用。公園のブランディングを進めている。

9 指定管理者の自己評価

【管理実績】横山公園のスポーツ施設の利用数は、人工芝グラウンド93%、野球場74%、テニスコート92%といずれも令和5年度よりも低いものとなった。施設等の大きな変更はないことから雨天や猛暑、料金改定（人工芝グラウンド）等によるものが推測される。野球場、テニスコートにおいては施設の老朽化が進んでいることから、それらの要因によるものも年々増えていることが推測される。

【成果指標】

○地域活性化に資するイベントに関する成果指標

・指標1、2：「地域活性化に資するイベント」においては、参加人数、協働人数ともに目標値を上回ることができた。よこやまオータムフェスタ、よこやまスポーツフェスティバル、ホテル観察会など、地域の方々と連携したイベントが実施できたことにより、参加人数、協働人数ともに達成度が高くなった。

・指標3、4：「今後、公園や地域で行うボランティア活動や、まちおこし等の活動に参加したいと思った（73%）」「また、この公園に来ようと思った（93%）」においても目標値を上回ることができた。

・指定管理の初年度ではあったが、地域の方々にも協力していただき、取組が進められたことで来年度以降に向けた基礎を築くことができた。

○緑化イベントに関する成果指標

・指標5：道保川公園のホテル復活プロジェクトでは、目標値の3倍となる参加人数があったこと、両公園で実施したツリーイングでは両公園合計で定員以上のご参加をいただいた。

・指標6、7：「今後、自分でできる緑化活動をしようと思った（79%）」「また、この公園に来ようと思った（84%）」においても目標値を上回ることができた。

・地域の自然環境や緑のことについて考え体験する機会を有効につくることができた。

【事業の実施状況】

○企画提案事業

・地域活性化や環境学習、地域防災に関する取組を実施した。事業によっては特に多くの参加があった。満足度も高かったことから初年度として基礎を築くことができた。※防災イベントは雨天中止

○自主事業

・横山公園は、各種スポーツ教室を中心に実施。地元トップチームと連携したラグビー教室は、参加者も多く盛況であった。テニス教室は、夏、冬と開催し参加者の傾向を把握し、年度の後半の通年の教室開催につなげた。また、はち育活動で飼育したミツバチが巣箱に貯めた蜂蜜を採取することができ、横山公園産のハチミツ「よこやまハニー」を初収穫することができ、イベント参加者等に味わっていただくことができた。

・道保川公園では、横山公園「環境学習はち育」とのコラボ企画として、ミツバチの飛翔距離と2公園間の距離がほぼ同程度であることを利用したウォークラリーやキッチンカーやハンモックによるリラックスセッションカフェを提供した。自然の恵みの貴重さを伝える機会や高齢層利用の多い公園に若年層、親子連れが集まる機会をつくった。

10 所管課意見

令和6年度は指定管理者として初年度となったが、実施事業においては多数の事業を実施したことに加え、公園の特性を生かした事業、地域と連携した事業、公園に愛着を持つことが期待できる事業など、内容においても魅力向上につながるものであった。

スポーツ施設では、初年度で状況の把握などが必要な中、課題に取り組み各施設の維持管理に努めていただいた。引き続き、課題改善に取り組み、特に従前からの課題である雨天後のテニスコートのより早い復旧を実現できるよう努めていただきたい。

予算の執行状況については、指定管理業務において大幅なマイナスとなってしまったが、初期投資によるものや見込んでいなかったものが発生しているため、自主事業に関する経費も含め今後適切に執行管理していただきたい。

11 選考委員会意見

- ・公園の特性を生かした事業を数多く実施され成果も出ているが、指定管理者でも課題を把握しているようなので、評価を踏まえ引き続きよりよい管理運営に努めていただきたい。
- ・管理者として公園のポテンシャルを把握し、担当者の熱い思いが伝わった。利用者の要望等にも適切に対応いただいていると思うが、今後も市の顔であるという認識を持って努めていただきたい。
- ・横山公園での環境学習プログラム「はち育」や、道保川公園での「ハンモックカフェ」など若年層が集まる機会を創出したことはすばらしい。ホタルの育成に向けては、環境づくりに苦勞があると思うがよろしく願いしたい。
- ・横山公園のテニスコートは数年前から改修の要望があることから、市と連携してオムニコート化を進めてほしい。

総合評価（自動判定）

B

(65/100)

